

短くても最高の友達です

ソト スレイニット

友達がたくさんいるのはいいことですが、
いい友達がいたらもっと人生が豊かになると
思います。

私には三年來の男の友達がいます。名前は
シンチングといいます。彼は私に比べて若く
てやさしくて、おしゃべりです。王立ブノン
ペン大学一の年生の時、友達になりました。
しかし、二年生の時、大学をやめました。他
の大学で国際関係を勉強したからです。
ところが私たちはまだ連絡を取り合っていま
した。ある日、彼は『私はどうしても日本へ
勉強しに行きたいのでMEXTの奨学金を申請し
ましょう』と言いました。大学二年生だった
ので、私は断ろうかと思いましたが、新しい
経験がしたかったなので、申請することにしま
した。私たちは夢を叶えるために一生懸命勉
強していました。平日はZoomで勉強したり、
週末は喫茶店で一緒に勉強したりしていまし

た。しかし、この結果は私しか合格できません
 人でした。彼は面接ステージに失敗したので
 す。私は幸せでしたが悲しかったです。結果
 発表日は、彼はたくさん泣きました。私は彼
 を抱きしめて『あなたは諦めてはいけない』
 と彼に言いました。しばらくして、気分が落
 ち着いた後で、彼は『必ず日本にいるあなた
 を訪ねると約束します』と言ってくれました。
 残念なことに、2021年07月に彼はガンにな
 ってしまいました。ガンの第一段階で、仕方
 がなかったのですが、彼のお兄さんは彼をタイの
 病院に連れて行きました。彼の状態は最初の
 6か月間で良くなっていきました。電話をか
 けるたびに元気でした。ところが、病気の
 にいつも私を心配な声を聞くことができまし
 た。『ニットさん大丈夫ですか。何をしてい
 ますか。日本へ行く準備をしましたか』など
 と心配してくれていました。しかし、病気は
 突然最終段階になってしまいました。私やほ
 かの友達もとても心配してならなかったです。

彼はなおさらがっかりして、勉強と将来について心配していました。手術を受ける前の日は、彼と私は泣きながら話しました。手術を受けることには冷や冷やしました。私には彼を励ますことはできても、彼を助けることができなかった。ので、残念でならなかった。です。さらに悪いことに、お医者さんが手術の代わりに残り時間を家族や友達と過ごしたほうがよいと言いました。

カンボジアへ帰るのは彼の状態にとって非常に悪かったので、家へ帰らずに病院に入院しました。呼吸には酸素タンクが必要で、食べることや、歩くこともむずかしかったのです。そのころ、私は日本への出発日が近かったので大変忙しかったのですが、学校を出たついでに、彼をたずねました。私たちは会うたびに、いろいろ話しました。飛行機に乗る直前まで彼を訪ねて行きました。日本に到着すると、すぐ彼とチャットをしました。私が無事に到着したと聞いて彼は喜んでくれました。

た。日本に来てからも毎日私にメッセージを送ってくれました。二週間が過ぎたある日、彼はおかしいメッセージを送ってきました。『ニットさん幸せに暮らしてください。どこへ行っても、私はいつもあなたを守ります。』と書いてありました。次の日、彼は亡くなりました。それは真実ではないと思いました。今はもう、私たちはチャットをしたり、話したりすることができません。とても悲しかったです。

彼は私にとって素晴らしい思い出になります。私にいつもいいアドバイスをくれたし、私が悲しんでいる時は励ましてくれました。彼は私にいつも一生懸命勉強しようと言いました。彼は私にとってやる気の源です。何かをあきらめなくなった時、彼のことを恋しく思うと、すぐ彼とともに努力した自分に戻る事ができます。

私の友達になってくれて本当にありがとうございます。